吉祥寺東コミュニティ通信
九浦の家だより

●NO.120　2018 07 03

吉祥寺東コミュニティ協議会
● 武蔵野市吉祥寺東町1－12－6
吉祥寺東コミュニティセンター（九浦の家）
●電話0422－21－4141

九浦の家 祝40周年

九浦の家 40周年
響きあう まちに 人に
六月3日記念式典と祝賀会

六月3日(日)11時開式で、吉祥寺東コミュニティセンター開設40周年記念式典を行いました。

松下市長、本間市議会議長、深田コミュニティ研究連絡会長からあたたかいご祝辞をいただきました。当コミュニティ協議会代表青木一郎は、40年の吉祥寺東コミュニティセンターの歴史をたどりつつ、開設準備期から連綿と続く誰でも自由に参加、話ができる「つどい」と、地域課題への取り組み、地域情報を住民が共有するための広報活動という九浦の家の基本を、今後とも受けついでいくと、決意を語りました。

40年といえば、ほぼ就職から退職までの年月。コミュニティ施策にかかわる市の職員は異動されますが、住民はコミュニティの当事者。運営委員は代っても、ずっと関心を寄せる人々も多い。さすがに、創設期からの運営委員は4名になりました。開設から10年は、勤め人も参加でき、「話し合いを重んじ、手の数で決めない」方針のもと、夜7時開始の運営委員会は時々0時を超えたと聞きましたが(早退は自由)、今は9時半終了を目指しています。そして、10周年を過ぎた頃から、青少協の推薦や運営委員の紹介により、社会体験の一環として、高校生を窓口業務担当(大人と組んで)運営委員として受け入れてきました。

小型館なので、文化祭は行いませんが、小さいなりに、工夫して、地域の核の一つになってきたのではないでしょうか。

引き続きささやかに祝賀会を持ちました。各コミセン、議員、地元学校長、同じ地域で連携し活動する東部福祉の会、東部防災会、PTA、青少協、民生委員、老人クラブ、市民活動推進課職員さんなど、皆さん話が尽きないようでした。境南コミ代表のワチミチコさんは、本宿青少協役員と同姓同名同年齢。二人が歓声あげてハグするハプニングや、仕出しの担当者と古参運営委員の娘さんとが三中で同級だったなどもあり、終始和やか。ホールを式典から祝賀会場に替える間、ロビーでお待ちいただきましたが、記念事業の一つである「九浦の家だより」アーカイブ化の取り組みをご披露しました。

記念品として、「つどい」できいた「東町の昭和史」のうち記録が残っていた11篇をまとめた冊子を用意しました。

上右代表青木と左小林実行委員
下 祝言の仕舞 高砂」青木健一

予告

◆地域懇談会　七月20日1時半～
東町地域福祉計画つくり　九浦の家
◆七月つどい　七月26日19時～「吉祥寺の地域医療について」市健康課の話
◆九浦の生き物探し　八月5日(日)10時～
◆教育シンポジウム(小・中一貫教育)
貝ノ瀬滋氏・市教委　八月11日(土)14時～
◆能鑑賞講座「屋島」八月18日14時～
◆納涼のつどい　八月23日19時～
◆民族楽器体験教室　八月26日10時
◆本宿盆踊り　八月25・26日　本宿小
◆市議と懇談会　九月1日(土)午後
本宿コミセンと共催　本宿コミセン
◆「吉祥寺東部フェスティバル」本宿小
十月14日(日)10時～東部福祉の会
◆本宿小防災体験宿泊　十月6～7日
東部防災会

東町ニュース

◎四月6日入学式。保護者席には小さな弟妹も。新入生を待つ6年生と2年生、一年生の入場が少し遅れても誰も動揺の様子もなく、見事な構えでした。
◎三中新入生90名です。
◎四月13日夜、宮本小路公園の、伸びたてのタケノコが折られました。近くに捨てられたお酒のパック。それでもこれぞ孟宗竹と言うような太い竹が、何本も伸びています。
◎四月13日、お弁当屋と、図書館東Toycatの軒に、今年もツバメが巣をかけましたが、六月5日 両方とも抱卵中断を確認。巣が壊れています。メガロスの巣はどうでしょうか。飛んでいる姿は見かけます。
◎消防署改築工事中避難していた安養寺参道の牡丹が戻り、四月15日には見事な花。植え替えの負担か、半分は、花なし。

長い長い本宿小運動会
保護者綱引き

街づくりができる

開館40周年記念 トーク&トーク

「コミュニティ活動」の今までとこれから
コミュニティ構想は実現できたのか

六月16日(土) 14時

スピーカー高田昭彦成蹊大名誉教授
田中雅文日本女子大教授
創設期来の運営委員原利子

「道は続く」「つながり つむぎ つづける」「コミュニティの可能性を問い直す」「社会資本としてのコミュニティ」「発展と革新の家」

トーク&トークの企画会でテーマとして挙げられたフレーズ。九浦運営委員会として何を訴えたいかが伝わってきます。

「これから」めざす方向は、最大の関心事だし課題です。でも、40年間、人は入れ替わりながら、東コミュニティらしさ、九浦流儀の地域とのかかわり方、コミュニティ観があるのを感じる。そういえば、「伝統を守れ」と言われたことはなかった。でも「話し合いましょう。決まらなかったらまた話しましょう」で、「多数決でー」はなかったなあ。

色々話していると、初代代表の和さんが、つどいの日に一人誰かが来るのを待ち続けていた姿を思い出す。穏やかだが、譲れぬところは根気良かった山口さん。地域の大問題に住民との間に立って市役所通いを繰り返した井部さん。この地域でやろうとしてきたことが少し輪郭を持ってくる。

先ず、武蔵野市がとった「町会でなくコミュニティ方式」で地域はふるさとになれたのか。私たちは、40年間自分たちの町、ふるさとづくりの実験に志願して、どこか楽しく試行錯誤を続けてきたのだから、そのことを徹底的に振りかえって見たい。

というわけで、コミュニティ問題、社会教育などでご縁のある二人の先生にもお願いし、表題のトークを行いました。

一コミセンの、かなり地味なテーマのトークなのに、多くの参加者でした。参加者も様々な立場の方がおいでなので、会場での意見交換を予定したのですが、お二人の先生が専門分野で実に丁寧かつ解りやすいお話をしてくださり、運営委員の原も、40年分の吉祥寺東コミュニティ協議会の活動の特色を紹介するため、2時間半ではとても足りず、それは、ほかのコミュニティ協議会とも一緒に、改めて機会を設けたいと思っています。

当日資料は、◆高田昭彦「武蔵野市が目指した「コミュニティ」とコミュニティ政策の変遷について」◆田中雅文「学ぶこと」と「コミュニティをつくること」◆原利子「これまでの吉祥寺東コミュニティ協議会のやってきたこと・これからの東コミュニティ協議会のやれること・吉祥寺東町は「ふるさと」になれたか。

いずれも、一人で90分ほしい内容なので、全部は話せまいとの予測で作られた詳細なレジュメです。ちなみに原のものは、武蔵野市のコミュニティ施策の実験にまじめに40年取り組んだ「実験台」からの報告です。九浦の家でご覧ください。

2011年三月11日、東日本大震災がありました。行政は、コミュニティ自主三原則とはいえ大災害時には関わらざるを得ないと「これからの地域コミュニティ検討委員会」(2013~14)で、「地域コミュニティ」と「コミュニティセンター」を根本から捉え直すことにしました。

その結果、「◆地域の課題解決に取り組む◆そのための場として「地域フォーラム」を新設する◆そこではコミュニティ協議会、課題別の活動団体、行政の三つが同等」という、コミュニティ構想の再定義ともいうべきことが始まっています。コミセンの地域課題への取り組み、災害時の共働は必要だし、そのための住民の話し合いも大切です。ただし条件があります。

▽行政は市民・住民とパートナーシップをどう立てるのか示すこと。

▽住民は、十分に課題はじめ地域の情報を共有し得ていること。

▽協議会は、努力して地域で共有すべき情報の収集、提供を行う。

振り返れば、地域の事務局的な働きをしてきた東コミ。誰でも入れ、排除されない場であり「地域」とも看做される。

「コミュニティに完成形はあるのか」
つねに発展する変化形なのでは?」

スピーカーと、左端は司会の伊藤徳子

昭和がまた一つ消える。

◎七月1日朝、宮本小路公園の花の植え付け、福祉の会子どもスタッフクラブのメンバーが大活躍で、見事です。

◎四軒寺交叉点スイスイプランの拡張工事が猛スピードで進んでいます。←

◎六月末宮本小路出口近くの立体駐車場解体完了。何になるか?

◎六月23日本宿小学校公開日、4校時は保護者・地域参加型避難訓練でしたが、弟妹を連れたお父さんの参加が大勢あったそうです。

◆サッカーベルギー戦明けの七月3日早朝、北宮本小路に消防車10台集まる。カセットボンベが爆発した通報で、発火はなし。宮本小路に入れぬ消防車2台が東十一小路0123辺にも。

▽先生方のの異動

第三中学 ご退職 音楽蜂須洋子先生・美術浅田豊子先生。ご転出 久保島結花・星奈瑠水・石森賢一・大城伸一先生。ご転入国語瀬戸貴子・理科藤原寛子・音楽佐藤富士子の諸先生ご転入です。

本宿小 向井俊哉・瀬尾雄作先生ご転出。榎本裕也・栗本圭先生ご転入。

第四小 杉谷努副校長 磯崎正信・松田めぐみ・若林宏幸・島倉えりか・福富優子・佐野綾子・川嶌美穂・細川枝理・宮崎久美香・木上さやの諸先生ご転入 青木優祐先生新規採用 本橋忠旗副校長・福原陽一・米内山美紀・高久悠・村上尚子・山中奈津美の諸先生ご転出 江見みどり・丸森菜穂先生ご退職と四小は大きな異動でした。

待望の病児保育所が本宿小南の高架下に来春開設か。認証保育所も

四月8日(日)本宿コミセンで説明会。病児保育枠5名。八月の文教委員会で報告の予定。

プレハブの側溝のパーツであっという間に歩道が出来上がっていく。みすず建設前で。

クリーンセンターで運転開始以来5度の火災。
不燃・粗大ごみ処理施設内で発生。原因は?

のは、そこで生活する私たちです。

創立40周年　七月1日　武蔵野公会堂
アニバーサリーコンサート
♡沢山の方にお楽しみいただけました

弦楽四重奏 アイネクライネナハトムジーク
シューマン ピアノ五重奏 変ホ長調
望月ゆり子・布施海里・林亮太・中村隆人
田鶴浜静子

バリトンのうたごえ
吉武大地・飯田俊明
ウイーン我が夢の街
ダニー・ボーイ 他

コンサートをプロデュースした東コミのピアニス音楽会担当ピアニスト田鶴浜さん。

平成30年度住民総会
四月14日(土)　第一部講演
「本宿地区盆踊り大会と地域」

平成15年盆踊り実行委員会発足以来3年間実行委員長を務め、近年再び実行委員長を引き受けている土肥明美さんから聞きました。

「本宿小校庭の本宿地区盆踊りには前文付きの規約があります」。

PTAの自主校庭開放開始(昭和55年)をきっかけに生まれた太鼓櫓とかき氷に綿あめ(全て30円)だけの小さな校庭盆踊りは、近鉄ビル(今のヨドバシ)建設で稲荷町会の盆踊りが消えた後(月窓寺の盆踊りもない)、何より子どもたちの期待が大きくなって、青少協共催から青少協の行事化しました。当初櫓をつくる主力は地域の野球チームの男性でしたが、他のスポーツチームのコーチや地域団体も協力するようになり、この作業が地域団体が結集するきっかけとなりました。盛会になると、安全面も含め全体の企画管理、事前準備も必要となりました。平成14年青少協は常任委員会で提案、検討委員会で練り、翌年出来上がったのが前文つきの盆踊り規約でした。

地域の諸団体が参加する実行委員会方式は、規約前文の理念引き継ぐもので、地域の夏祭りとして継続するために良い選択でした。実行委員会で各団体の持ち場が確認されて、団体からの人手が集まり、日本一と自賛する校庭花火とともに、地域の一大イベント化しました。東部福祉の会の子どもスタッフクラブが、高齢化してきた踊りの会の指導の方に代わり、お手本を踊ってくれています。大変な参加者数ですが、近年幼児連れの若い世代の参加が目立ちます。かつて通信簿なしを受入れたこの地域で、本宿小校庭での盆踊りも、「ふるさと」になりました。

規約前文＝「本宿地区盆踊り大会」は、本宿小学校PTA行事から始まったものであり、それを青少協、PTAとの共催として行ってまいりました。その中で「地域の子ども達を健全に育てることの意義」を見出し、それを推進していくことの重要性を知ったのです。(中略)そこで、地域の方々が、子ども達の成長を見守る場として、また、交流の場としての地域行事をめざすために「本宿地区盆踊り実行委員会」を設置したのであります。青少協本宿地区委員会の「いつも子ども中心に」の理念をそのまま引き継ぎ、PTAと共に、地域の団体・有志による「本宿地区盆踊り大会」の成功を期すものであります。

東コミュニティ　今年の通年テーマ
「安心して暮らせるまちづくり」

14時からの総会で、土肥明美さんを議長に選任、29年度活動報告・決算・監査報告および30年度事業計画・予算案運営委員が承認され、監査に伊藤義則、小峰ヒデ子氏が選任されました。

引き続き行われた臨時運営委員会において、30年度代表　青木一郎　副代表　浅井信也　濱岡哲　小林宏　山田淑子　竹内志織　会計　宮沢元英　苧坂敬子　山本由美子が選任されました。

会計報告は次号に掲載いたします。

◎四月15日、吉祥寺図書館リニューアルオープン。新聞雑誌類の閲覧コーナーは、ソファを撤去した代わりに多くの人が座れます。地下閲覧室も、座って読める所が増えました。
◎女子大通り「いちじく」の後は、四月末「吉祥寺ハンバーグ」開店
◎吉祥寺通り、神谷医院跡地ビルのセブンイレブン、五月25日待望の開店。
◎五月16日、9時ごろ、東町上空をヘリが飛ぶ。西荻窪の西武信金の強盗でした。
◎五月26日本宿小学校運動会。曇天ながら暑すぎず運動会日和。本宿小は児童数が20名ほど増え、子どもが校庭にいっぱいです。応援団長は、紅組も白組も女子。保護者参加の綱引きは、長い長い列ができました。
◎快晴の三中運動会。生徒も先生も、役割で席にはあまり姿がありません。先生のユニホームは、同じ図柄でも、黄、青、赤とクラスカラー。校長、副校長他は黒でした。2年の全級リレーでトップを走ってきた女子が、バトンミスで3位に。悔しくて、情けなかったんだろうなあ。退場まで涙が止まりません。後ろの子が、背中や腕を何度もポンポンと。
◎五日市街道旅人食堂一階部分建物撤去。
◎旧新井時計店はペット、保護犬関係の店舗になりました。
◎女子大通りのビアカフェ、食事もできます。
◎フレッシュネスバーガー改装おわって六月8日から再開。パスタがメニュー化しました。
◎新井時計隣のピザ屋。六月から再び休業。
◎西友北ファミリーマート六月末日閉店。
◎五日市街道で60年続いた鶏肉専門店「鳥一」四月末で閉店で

防災訓練で中学生の力に驚いたけれど、この子たちの実力もすごい。通るときはご注目。

1レースごとの記録が係の先生のところに届き、パソコン入力されて、順位や前年との比較、新記録が分かります。

つどい へ どうぞ

父の画業を語る」四月26日(木)

大津鎮雄画伯長女大津由美子さん

「昭和初期、絵描きを目指すことは大変でしたが、いつもは厳しいお母さんが応援してくれ、絵の道に進めました。応召中の何年間か、戦地から送られてきた絵入りはがきを、母がファイルして残していました。戦地へ絵の具を持っていったのか水彩画ですが、最後は鉛筆の線画になっていました。戦後はフランスを中心に、気に入った風景を探しての長旅の日々でした」。

安井曽太郎に師事されたのが分かる明るい風景画の多数は、フランスの郊外の風景。殆どが120号と大型ですが、現在埼玉県加須市のサトエ美術館に展示されています。

後日水彩画をもう一枚いただきました。センターの廊下右側に二枚展示中です。

「東町の昭和史を語ろう」1

五月24日(木)午後2時～

40周年記念に「つどい」できいた東町の昭和史の記録を冊子にしました。これを種に、皆さんで昔のことを思い出して語り合う。25名の方が参加されました。

なんと、参加者の中には、安養寺にあった「保育園」に通っていた人が二人も。駅前通り(現サンロード)のお店のおかみさんたちが、どうしても必要だからと頼み、開設してもらった由です。その時の保母さんが、気が付いたら安養寺の奥さん。

終戦前後の食糧不足の思い出が強く、一回「食いもん」の話をぜひと希望が出ました。

吉祥寺村は、同じ武蔵野の茅原を開拓したと言っても、関前や武蔵境の農家とは別のタイプの農家だったようです。

「東町の昭和史を語ろう」2

六月28日夜

前回は都合がつかなかった方、市報で見て興味をもってという「つどい」初めての方、二度目の方。いろいろ思い出して話は尽きません。道路端の側溝と、生活排水で次つぎ思い出しました。五日市街道の側溝にはイトミミズがいたというからきれいだったのでしょう。下水ができるまで生活水は側溝に流し洗濯の水は庭の穴に吸い込ませた。だから風呂は風呂屋へ。のちに側溝には蓋をしますが、ニヨヨン(失業対策事業)で働かないので完成がのびたとか、「緑が丘」では蛍が飛んだやら、蚊帳に「風船虫」がきたやら。街灯設置運動が起きますが、それまで東町は本当に真暗闇。天の川がはっきり見えたそうです。

若い方には?な外食券、衣料切符。商店名をたくさん思い出してもらいました。

宮本小路保育園訴訟

対武蔵野市 原告敗訴
対市民 原告「取り下げ」

「東町の保育を考える会」に報告会

六月8日(金)

宮本小路の保育園計画から撤退した事業者から損害賠償を求めて訴えられていた武蔵野市は、三月26日、原告敗訴の判決を受け、原告が控訴しなかったため確定しました。

この結果を受け、一昨年七月4日、事業者の説明会で、保育理念を問うても答えられず、また、計画申請に必須条件の近隣同意を、周辺世帯のほとんどから得ずに「挨拶回りを以て同意を得た」としたことに不審を持った人たちが、「東町の保育を考える会」を結成し、宮本小路保育園建設不同意を市に申し立てました。

この中の住民4名に対し事業者が「名誉毀損による損害賠償請求訴訟」を起こしました。四月2日原告が取り下げ書を立川地裁に提出。判決が欲しかったのですが、これからの長い時間の心身ともの浪費は無駄だからお止めなさいという弁護士の助言で、取り下げを受け入れました。

九浦の家で、以上の報告と経過の説明会を行いました。この間、様々な所に、原告からの悪口雑言の怪文書が撒かれました。訴状を見れば、この事業者が武蔵野市で認可保育園を経営し、乳幼児保育をしなくて良かったとご理解いただけます。しかし、弁護士から、訴状の公開は止められました。

この間の一部の議員さんたちの「東町住民エゴ」「武蔵野の評判を落とす」という攻撃も相当なものでした。マスコミの多くの論調は、住民の保育園嫌いによる反対運動ストーリーとして報じました。今マスコミ論調は「保育の質」に重心が移りました。

反対陳情は宮本小路の交通事情を熟知した者からでした。国の規制緩和策は、待機児解消と保育の質確保と背反する要求ですが、どう実現するかが行政の仕事のはず。一昨年七月4日の説明会で、住民が感じた不安を担当課は感じなかったのか。部長はこの会場で初めて事業者と名刺交換。事業決定は先立つ五月6日の「待機児童緊急対策本部会議」(市長・副市長・部長)で行われたという。情報公開請求すると「起案書が無い」……

東コミ局 センターからお知らせ 18.07.03

「吉祥寺東落語会」

五月22日(火)

春風亭三朝さん、この日は珍しい「洒落番頭」と「へっつい幽霊」二席。お客様は何と50名に。

▼今年も玄関前に大きな七夕の竹を用意しました。

▼六月18日本宿小二年生、生活科で九浦の家見学に。

▼40周年記念事業のうち、「トーク&トーク「コミュニティ活動」の今までとこれから」「記念コンサート」に、市の後援をいただきました。コンサートは、ハイレベルな演奏を多くの方にお聴きいただきたく、初めて館外の武蔵野公会堂ホールで開催。楽しい会になりました。皆様の応援感謝します。

▼吉祥寺東コミセン九浦の家のマークができました。(一面参照)40周年事業のポスターのほか、封筒などもこのマークを使います。デザインは、若手運営委員今岡さん。九浦の家の桜の花びらをイメージしています。

▼九月より謡曲講座が始まります。

▼40周年を機に、ホールで使う椅子50脚と、専用スタンドを新調しました。以前に比べ軽く、扱いやすくなりました。

▼ロビーの木製椅子、同形のを頂きました。

▼破損していた反響板を直しました。経費節約のため、板を新しくせず、蝶番の向きを逆に入れ替えました。

▼「玉川上水シンポジウム」の後援者の一つになりました。

▼九浦文庫書架にファーブル昆虫記10巻(岩波)入りました。

▼**ペットボトルキャップの九浦での回収は、受入業者がなくなったため中止いたします。**

▼新運営委員稲田奈津さん窓口担当に。

▼各記録類は、九浦の窓口前におきます。